

対話から始まるみんなの政治、女性議員として声を届けます!

福岡県議会議員 宗像市選出・無所属・一人会派(桜和会)

2023年6月定例議会報告



ふくち幸子

普段の活動は下記のSNSにてご報告しています。



Facebook



Instagram



赤間駅での街頭活動

県議当選から、2か月、第2回福岡県議会定例会が開かれました。今後の議会活動に向けて課題にアンテナを張り、情報収集、研究を始めています。ジェンダー平等・教員の働きかた改革・子育て支援について、皆さんの声をお聞かせ下さい。

議会活動 01

6月の定例議会は、初めての質問などで日々勉強の連続でした。



ふくちの質問は動画でもご覧いただけます



代表質問のチャンスがない一人会派の私にとって、一般質問に割り当てられた8分間は貴重な時間です。ふくち幸子は、「非行少年の就業、国の再犯防止」について質問を行いました。

要旨

この10年で日本の治安が悪くなったと思う人の割合は5割を超えています。犯罪をした新たな受刑者のおよそ半数が再犯による再入受刑者であるという現実をみると、できるだけ再犯を減らしていくという事が、社会をよくするために重要であることがわかります。では、この再入受刑者を減らすにはどうしたらよいか。それは、何より就業支援策等により対象者が仕事を得て社会復帰をしていくことだと言えます。そこで県としての現在の対応をお尋ねしました。

▶ 本会議中の教育問題に関連する質問と答弁を抜粋しました。

① 教員不足の解消のための採用状況は? 解消するための取り組みはされているのか?

- 新卒者は確保できているが、既卒者の採用は大幅に減っている。
- 教師不足解消、質の高い人材を確保するには、採用試験の改善、教員の魅力向上させるために、環境改善を行う。退職者、ペーパーティーチャー対象の説明会を実施するなどして全力で教員確保に取り組む。
- 志願者を増やす策として、大学推薦による特別選考、社会人経験受験可能な特例、1次試験1か月前倒し6月16日実施 大学3年で受験可とする等。

② 働きかた、処遇改善に対する対応は?

- 市町村ごとの超過勤務を把握し、一層の働きかた改革促進、処遇改善、実態を踏まえた制度となるよう国に検討を要望している。

③ 早期離職者、30歳以下若年教員の退職者の増加対策は?

- 精神疾患による休職からの復職について、円滑な復帰促進のため勤務助言などのサポート。
- 早期退職年齢引き上げによって40代は早期退職申請できない。
- 高齢者教員の負担軽減のため、ICT化による業務の効率化、専科指導、職場環境の整備に努める。

● 教員の確保 未配置の現状

教員の未配置	小学校	63人
	中学校	50人
産休育休代替講師未配置	小学校	72人
	中学校	24人

● 臨時免許で担任となる現状

臨時免許任用講師数	小学校	433人 (うち担任350人)
	中学校	79人 (うち担任44人)

議会活動 02

教育、福祉、防災、商工など様々な組織、団体の方とご挨拶、講演会、総会等へ出席させていただきました。

ご案内をいただきながらも、日程の都合で参加できなかった場合は、祝電やメッセージをお届けするなど、5月～6月の間、合計35件の面談や意見交流の場に参加しました。今後も可能な限り出席し、直接対話ができる議員でありたいと思います。

その他の議会活動

福岡県商工団体連合会の請願について、紹介議員になりました。

件名 「インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することに関する請願」

福岡県議会豆知識

県議会は年間を通してどのような活動を行っているの?

2月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会と、議案などを専門的かつ詳細に審査する委員会があり、委員会は会期中の他閉会中も必要に応じて開かれ審査や調査が行われています。常任委員会は8つの委員会が設置されています。(ふくち幸子は厚生労働環境委員会に所属)